市議員の意見を聞く

不詳事件をどうみるか

今度の不詳事件は実に遺憾で、市長は内にあつては三百余名の職員の模範としてその指導監督に当り、外に対しては四万市民の代表として信頼され師長とならなければならない。従つてその地位は高く職責は実に重大だ。その上田岡都市として発足してわずか一年有半基礎作りの時代であり、加えて、一億二千万円に昇る赤字を持ち挙市一体の態勢整備を急いでいる。

この様な首長としての普遍性や市の特異性から見て事件の白黒は別として道義的な責任には必ず良心はあり人間は温い血汐が流れている。死人に鞭打つようなことはつつしまなければならない。しかしこと公に関する事であり、涙を振つて馬謖を切る気持は忘れてはならない。これを契機に執行部も議会も一丸となり、心身を新に再びこの轍を踏まないよう心掛けなければなるまい。執行部と議会は車の両輪のようにその衝事が合わなければ回転出来ないものである。しかし執行部と議会はおのおのその分野を異にしいずれもその分野を逸脱してはならないもの。この際職員一同動揺する事なく、議会は冷静に勤め、市行政は確固不動であり、既定方針通り万進することを誓う。

（北村　広喜）

汚職についての各種報道の中には、その内容やニュアンスに公正を欠いていると思われるものもあつて、いつの間にか南国市が汚職一色に塗りつぶされた感じがするのは感心できない。汚職はおもに合併前のものであり、また引継ぎされたものもあるようですが新市になつてからの不正が明確であれば断じて許すべきではない。

広報は今度のような事件は取扱いにくいだろうと思うが、正確なPR活動によつて市民の安定に一役かつてもらいたいものでした。

それかと言つて御用新聞になれと言うのではない。議員としての私は複雑した情況の中で慎重に事態の推移を静観している。しかし静観にも限度があると考える。

（島内　稲喜）

今度の汚職は、久礼田上水道工事を中心に動いていた様だが、無電機で入札の秘密がスツパ抜かれていたとは神ならぬ身の知る由もなく、監督の為これに参加していた議会側も飛んだとこゝろで見あんどんの汚名をいただいた。しかし一方西村市長が、当選後間もなく門谷に引ずり込まれて汚職の森深く迷い込んだとは、私は簡単に信じていない。かりに某記者の語る節書を事実とすると、市長は三十四年十月の終り当選直後すぐから門谷ペースに入りかけた事になる。と言うのは三十万の現金を山村という業者を通してもらつたのは同十二月二十四日頃だということだからこの間、二ケ月足らずの間に門谷から菓子箱が、三、四回動いた事になるからだ。旧後免町の職員に対しては、かなり厳成した市長が、こんな事はないでしよう。しかし皆さんから選ばれて出た私共はもつと慎重でなければならない。マスコミは早晩崩れるものと思うが、今しばらく静観してみたいと思う。

さて、市長は去る三日、小笠原助役に市長職の代行を命じ、自らは市民の前に謹慎の態度を明らかにし、罪状は否認して斗つている様ですが、市長のこの措置は現段階では適当だと思つている。私は不正や汚職はどこまでも正さねばならないものであるが、議会としても深く反省する必要があると考える。

（浜田　勇）

広報委員会より、今度の南国市の不詳事件について意見を求められたが、実をいつて七日の現段階で、議会の一員として個人的意見を公表すべきかどうか迷つたが、広報の重要性と公人の責務より考え筆をとつた。

まず第一に私は今度の事件に最も責任を負つている者の一人であり私は今この責任を如何なる方法において果すべきかを苦慮している。私は選挙の際「清く築こう我らの農市」というスローガンを掲げ「清く明るく住みよい南国市」を築こうと申したが、現在の南国市は全くその反対の「汚れた、暗い、住みにくい南国市」になつてる事を市民の皆様に何とお詫びしてよいか言葉がでない。

私はこれからの情勢の推移が、南国市再建のため私が議員を辞める事が最善の方法であるとの結論がでたなら直ちにこれを実行する決意です。

第二に議会はこの事件につき、二回議員協議会を持ち長時間協議した。特に三日の協議会においては西村市長の議長宛の手紙が発表され「今しばらく猶予してもらいたい」との市長の意を汲んで静観することになつている。私の理解では議会は多数市民の納得する筋の通つた事態收拾を決意しているものと信じており、私も一議員としてその方向に最善の努力をする事をここにお誓いする。

第三に西村市長は議長宛の手紙の中にも「今回の事件について十二分に責任を感じている」旨その意志を表明していますから、必ずや多数市民の納得する市最高の公人としての態度を明らかにされる事を信じている。

以上三点にて不充分ながら事件に対する意見とする。

（徳永　安雄）

一言にして言えば、筆舌につくしがたい遺憾千万な事件で、私たち市政に当る者として市民の皆様に誠に申訳けないと考えている。いやしくも市政執行の長である責任者が可否の取調べを受け、その上に起訴せられると言うことは、いかに否認中とは言つても、議員としてまた市民の一人としても絶対に容認できないことであり、この際市長の善処を要望する。

この事件で南国市発足当時の市役所内部がどんなに乱れていたかを知ることができるし、市長は当時人事決定などにも優柔不断で、その間に乗せられる隙を与えたことが取返しのつかない不詳事件を招いたと思われる、更に市民の代表たる議会人として充分に監視できなかつたことは皆さんに深くお詫びすると共に議虚に反省を深めている。

今後は一日も早く旌正で実行力のある執行部により、財政再建の途上にある市の信用回復を計り、明朗な市政確立のため共に奉仕しなければならないと決意を固めている。

（井上　満吉）

入学と保護者の心得

一、自分のことは自分ですること

はじめて学校へということから、家庭では衣服やカバン、持ち物などいろいろそろえられていると思いますが、これらが自分で自由にぬいだり着いたり、あつかつたりできるようにしなくてはなりません。

身体検査、体操、便所など自分でぬぎ着できなかつた場合は、友だちにおくれるばかりでなく教師の手を取つたり、泣いたりすることから、おのずと自己劣等感に陥いるようになります。

朝の学校へ行くための仕たく、家庭へ帰つての着がえなど、すべて子どもの手でさせるようにしましよう。

もしそうした場合、どうしてもできないものは、それは形はよくてもその構造が悪いのですから早くできるようにしなければなりません。

二、生活はきまり正しく

朝も登校ぎりぎりまでではなく、少し早目に起し、自分のしたくを自分でさせるとともにカバンの中の荷物もともにしらべなおして、忘れ物がないようにしつけると同時に習慣ずけるようにしましよう。

また学校から帰つて野外での遊びについては、どこでだれと遊ぶということをはつきり伝えさせるようにし帰えるおよその時間もはつきりさせます。

夕食後はできるだけ学校であつたことを自然に話す力をできるだけ伸ばすことが大切です。この場合は家庭全員が熱心に聞いてやるという態度を持たなければ、子どもは決して喜んで話すようにはなりません。

画に行つていたものも、入学後は学校から許された映画以外は家庭から自由には行けないことになつておれば、これまでのように同伴することはできません。

また交通のきまりについては、必ず右側を歩き、また横断する時には前後をよく見て、急にとび出すことのないように、必ず守らせること。家庭へ帰つてからの遊び場としてよく道路が選ばれることがありますがこれはもつとも危険なことですから注意する必要があります。

四、家庭と学校の連絡はこだわりなく

子どもがほんとうに可愛いくて、よい子に育てたいとお考えでしたらその子どもに関係した家庭事情や生育歴、また子どもの悪いくせなど包みかくすことなく学校と連絡し、必要に応じては日々の生活についても連絡をとることが必要です。

五、学校の参観はむやみに多くしない

子どもの入学と同時に、おかあさんも入学されたではないかと思はれるほど毎日学校へきて子どもの世話をやかれていることがみうけられますが、このようなことは注意しなければなりません。

お知らせ

水稲栽培指針訂正について

先般右記について配付致しましたが、種子消毒の項目次の通り誤りがありましたので訂正して下さい。

種子消毒、水銀剤消毒(1)メル、PMF水和剤各四〇〇倍液に一～三時間を各一〇〇〇～四〇〇〇倍液に一～三時間に訂正して下さい。

なお深耕田の水稲栽培指針（三十六年二月）についても同様に訂正して下さい。

間もなく種子の準備やら消毒が始まると思いますが間違のない様にお願い致します。

（南国市農業改良普及所長）

引揚者給付金（遺族）請求の時効時期について

引揚者給付金（遺族）の請求については、大部分の方が手続をおわり、すでに国債を受領されていますが、請求手続の時効日である五月十六日もいよいよ目前にせまつてきました。

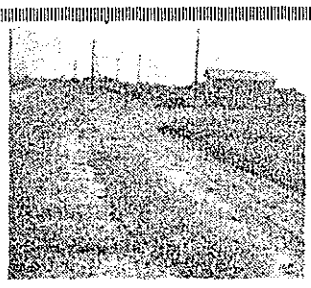
それ以後は、請求権がありながら時効にかゝり、消滅しますから該当者で、まだ手続をされてない方は、請求権をうしなはないよう、早やく手続をとつて下さい。

手続については、市民課厚生係におたずね下さい。

本年度より貸付金額が増額されました
住宅金融公庫申込設計、施工
受付期間　四月五日～四月十八日
南国市後免町登記所前
土木、建築設計施工監理
中村建築士事務所

あちこち

高知県の空の玄関、日章の高知空港は最近次第に整備拡充されりつぱになつてきたが、国道との連絡があまりにも殺風景。写真は高知大学農学部東の十字路で、この辺でさえわびしさざつとこのとおり。

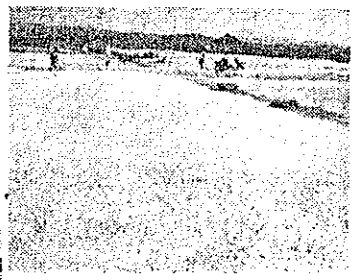


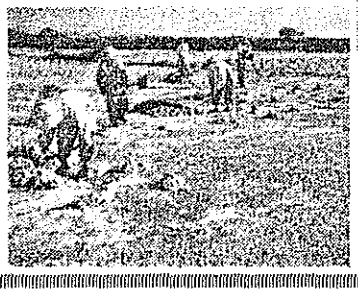
そこで県ではこんど百万円近くを予算化、空港と国道との連絡路の西側に南国土佐にふさわしい、各種の常緑樹を植え、〝おらんくの玄関〟の面目を一新することになつた。

◇

十市地区の県道ぞいにあつた墓地は、いつのまにか道の真ン中にお出ましされるからだ。

やつているのは市外のもので、車に積んで運び込むと写真（下）のように小分けにして盛り上げる。こんどはそれを一面に撒いて乾燥し、その上を小型の重し付き木馬のようなものを引いて粉砕し仕上となる。（写真右は撒布されたデンプン粕）





◇

豊かでない市の財政からこのところ市の施設に古物の利用が大はやり。

一、二をあげると―市役所構内に建設中の国保や国公年金の事務室がそれで増、改築中の日章小学校の廃材を利用。

また高ケ池中学の増築工作室も同校の廃材、窮して通じた。

◇

とくに県外でダンプカーがおそれられているが、市内でもそのおそろしさを見せつけられた。

さる六日午後四時五十分ごろ、大垣の香長中学校一年生、島崎利勝君が後免町駅前国道を自転車で通つていると、後から来た高知市大一建設のダンプカーがひつかけて島崎君の腹部をひいてメチヤメチヤにして即死させた。

ダンプがもう少し右に寄つて通つたらこの惨事は起きなかつたといわれ、いまさらのように交通事故のおそろしさを見せつけられた。

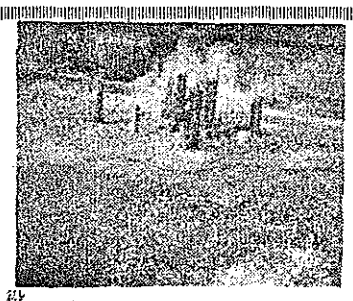
◇

人家密集地で続発する火事の対策として後免中央青果市場やその付近の人たちは市の消防団から不用のホースを譲り受けて消火対策をたてた。

消火の水は付近の市道にある水道の消火栓から取る仕組みで消防団出動までに大いに効果をあげようというもの。

◇

長尾どりの本場は市内篠原。しかし、みやげものとしての長尾どりの模型はことにあろうに市外で作られ陽の目をみていることは注意しなければなりません。



で、この状態に対する監保や国公年金の事務室がのいいぶんはどうか？